

かえる神社

加恵瑠神社はカエルを祀った神道の聖なる場所です。加恵瑠はカエルを意味します。「下呂」とカエルの鳴き声が日本語で同じ音のため、下呂の人々がカエルを町の非公式マスコットとして採用したのは自然なことでした。下呂の町のあちこちで、マンホールの蓋のデザイン、土産物屋の売り物、そしてもちろん雨の日に道路を跳ねながら渡る姿など、あらゆる種類のカエルを見つけることができます。

2010年に建立された加恵瑠神社は、この町のマスコットに敬意を払っています。神社の中は御手洗場の近くでポーズを取るカエルや、境内に沿って点在する小さな緑のカエル、参拝者が祈りを捧げる石でできたカエルの神様など、さまざまなカエルの姿でいっぱいです。参拝者が願い事を書く絵馬にさえ、カエルの絵が描かれています。

下呂には神社が点在していますが、町のマスコットを祀っているのは加恵瑠神社だけです。この神社は大事な願い事をするのに特に縁起の良い場所です。なぜなら、日本ではカエルは幸運のシンボルとされているからです。そのように信じられているのにはたくさんの理由がありますが、そのうちの1つが、カエルという言葉が「帰る」も意味し、誰かが無事に帰ってくることを示唆するためです。